

「体験型現場学習会」は随時実施しています。

是非、工事現場の体験型現場学習会を活用して下さい。

1. 目的

キャリア教育の一環として、「体験型現場学習会」を通して、好奇心の旺盛な中学生に建設業に興味を持っていただく。

2. 実施内容

1) 実施主体 : 東北建設業協会連合会、東北建設業青年会、国土交通省東北地方整備局
建設業の魅力を発信するための戦略的広報勉強会 ※1

2) 実施場所 : コマツIOTセンタ東北(宮城県大郷町)
※受入人数が少ない場合は、近隣の現場等で実施する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3) 生徒数 : 最大40名(これ以上の人数受け入れについては、要相談。)

4) 実施時期 : 毎年、8月～11月の気候のいい時期。(調整可能)

5) 実施時間 : 2～4時間程度。(移動時間含。調整可能)

6) 体験内容 : 建設現場で行われている様々な作業の中から、ドローンや建設機械等の操作、VR体験等、実際にみて、ふれて、体感できるものを選定。

7) その他 : 生徒の保険については、学校側でご準備をお願いします。
工事現場等への移動手段(バス等)が必要な場合は、こちらで準備します。
申込みいただいた中学校と開催に向けた調整(打合せ)を行います。
※開催が困難な場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※1 : 東北建設業協会連合会、(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)日本埋立浚渫協会東北支部、(一社)日本道路建設業協会東北支部、(一社)日本橋梁建設協会東北事務所、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、国土交通省東北地方整備局

■申し込みについて

必要事項をメールまたはFAXにてお申し込みください。

学校名	
担当者名	
電 話	
F A X	
メールアドレス	

【申し込み先】

メールでのお申し込みは → thr-sendai01@mlit.go.jp

FAXでのお申し込みは → 022-249-3772 (宮城県内代表事務所:仙台河川国道事務所)

東北建設業協会連合会、東北建設業青年会、国土交通省東北地方整備局
建設現場等から生まれる情報資産の効果的な社会への還元に関する勉強会

未来を創る



建設業の“今”を体験しよう

～ 体験型現場学習会のご案内 ～



地域を守る

☑建設業は「社会資本の担い手」 「地域の守り手」です。

- ▶ 建設業は、私たちの暮らしを支える河川、道路、港湾、空港など、経済社会基盤を建設・維持管理する「社会資本の担い手」です。
- ▶ また、災害時には、最前線で地域社会の安全・安心の確保を支える「地域の守り手」として、重要な役割を果たしています。
- ▶ 建設業は日本の国土を支える、**社会にとってなくてはならない産業**です。

☑建設現場は変わっています

- ▶ 建設業界では、**給料が高い、休暇が取れる、希望が持てる**、を実現するために、様々な取り組みを推進しています。
- ▶ 週休2日工事の普及・拡大による休暇の確保、Web会議推進による移動時間の解消やコロナ禍の接触機会低減など、働き方改革を進めています。
- ▶ また、現場に行かなくても現場管理ができる取り組み（自動化、遠隔化等）や、より、リアルなコミュニケーションの取り組み（VRの活用、三次元の図面等）など、デジタル技術の活用で従来の常識を変革する**DX（デジタル・トランスフォーメーション）**を推進しています。

☑さあ、“体験”しよう！

- ▶ 「**体験型現場学習会**」で、建設業の“今”に触れて、魅力を体感してください。



見て！

『ドローン』の活用体験



触れて！

『建設機械』の操縦体験



最新技術を体感！

『VR（仮想現実）』の活用体験

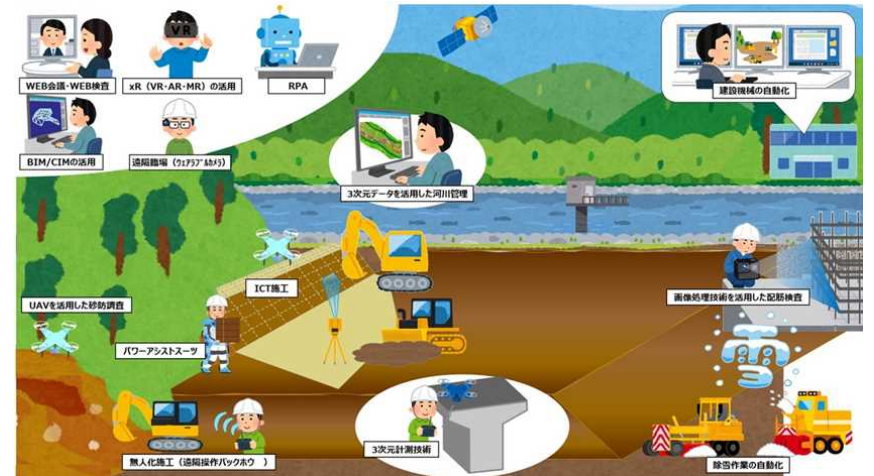


社会資本の整備

建設業の役割

社会資本の維持管理

災害時の安全・安心の確保



DXを活用した建設現場の働き方改革イメージ